

□ 次の傍線部の漢字の読みをひらがなに、カタカナを正しい漢字に直して答えなさい。

- ① 筋骨たくましい若者に成長した。
- ② 急な雨に人々が右往左往する。
- ③ 校庭に整列して点呼をとった。
- ④ 定規を使って作図する。
- ⑤ 開発の規模を拡大する。
- ⑥ 大学で物理学のコウギを受けた。
- ⑦ 駅の売店でシェウカンシを買う。
- ⑧ 太平洋をコウコウ中の船。
- ⑨ 試合に向けて部員のフンキをうながす。
- ⑩ 第一に公衆エイセイに気をつけるべきだ。

□ 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

急ぐときには急いではいけない。むしろ、思い切ってゆっくりした方がいい——これはおそらく人間がかなり古い時代に発見した真理であつただろうと思われる。

ローマのスイートニウスという人がオーガスタス・シーザーのことばとして書き残した、フェスティナ・レンテ (Festina Lente) ということばは、はなはだ有名である。「ゆっくり急げ」の意味。

京都大学の古典語の教授であつた田中秀央博士は、はがきの終りによくFestina Lenteと書いた。出版社との仕事の連絡などにはいつもかならず、この文句がついていた。はじめのうち、これは原稿のできないのに対する言いわけかと思つたこともあるが、そうではないらしい。博士の仕事は着実に決して約束に遅れる

ことがない。(1)、「ゆっくり急げ」というのは妙な急ぎ方をしていい加減な仕事にならないようにという自戒がこめられていたのかもしれない。①それだからといって、いつまでもぐずぐずしてはいけな

い。あわてず、しかし、のろのろしないで仕事をしましょう、という自他に対する【A】表示だったのであろう。

このことばを英語に訳したのがMake haste slowly. (メイク・ヘイスト・スローリー)で、これも広く行われている。

寺田寅彦に「科学者とあたま」という随筆がある。科学者になるにはあまりバカでは困る。そうかと言つて頭がよすぎても大成しない。適当にぼんやりしている方がよいらしいという意味の逆説をのべている。

なぜ秀才ではよくないか。思うに、頭のよい人は困難があらかじめわかつてしまう。すこしやってみて、この先は壁だとなると、すぐあきらめてしまう。(2)別の方法や問題にとりかかる。ウサギ式になりやすい。それに引きかえ、愚直な人は、あらかじめよいことを考えない。わからない。とにかく問題にとり組んでゆつくり攻める。常識ではできないとわかつていても、じつくり腰を落着けて押している。と、そのうち不思議と、あるところへ来て、思いもかけず活路がひらけたりする。バタバタする目先のきく秀才は結局、何も大きな仕事ができないで終るのと好【B】。適当に頭が悪い方がいいというのはたんなるパラドックスではない。

一見矛盾することばを結びつけて、一面の真理を伝えるのを修辞学でオキシモロンという。日本語では撞着語法と呼ばれる。たとえばこういうのがある。

公然の秘密 / まけるが勝ち / ありがためいわく

秘密は【C】でないからこそ秘密である。みんなが知っていたら秘密でも何でもないはず。(3)、秘密だというからよけいに好奇心をそそる。またたく間に広がってしまい、知らぬものもないが、建前はあくまで秘密となっている。そういうことがよくある。

「まけるが勝ち」。どうしてまけるが勝ちになるのか。まけた時点ではそれがそのままかちになることはない。それなら【D】である。

その場ではたしかにまけたけれども、長い目で見れば結局、自分の得になるというとき、視点を変えて、まけを勝ちと見ることができるとして、敗者のまけおしみに利用されることがないとは言えないが、無理に勝負にこだわらずに相手に勝ちをゆずることが実際ににおいても高く評価される。

③「まける」と「かつ」のところが同一次元でないから、この矛盾のように見える命題が矛盾ではなくなる。

「ありがためいわく」は「ありがたいと思う気持ちよりは迷惑だと感じる気持ちの方が強い様子」だと説明している国語の辞書がある。

④これではオキシモロンにならないのではあるまいか。相手が好意、親切からしてくれていることはわかっている。それに対しては、ありがたいと思わなくてはならない。ところが、こちらの正直な気持ちから言えば、すこしもありがたくない、どころか、迷惑ですらある。その二つの立場の違いをふまえて、ありがためいわく、と言うのである。

オキシモロンには論理の飛躍がある。⑤そのすき間を飛びこえられない人には、何のことを言っているのかわからないだろうし、逆に飛びこえられる人には何とも言えぬおもしろさと感じられる。

(4)、撞着語法はかなりシャレたものである。それが日常生活で何気なく古くから使われてきたというのは、なかなか興味ぶかいことである。大人のことはである。こどもには通じない理屈である。

急がばまわれ、にも【E】的ギャップがある。急いでいるのなら、当然、最短コースを行かなくてはならない。急いでいるのなら、急がなくてはならない。

※ところが、あわてると、さきにものべたように、ロクなことがない。思いがけない失敗をやらかして、かえって、おくらしてしまう。ここまでの部分をのみこんで表面に出さず、だから、急いでいるときには安全な、

まわり道をした方が、意外に早く行かれていい、という部分だけを表面に出す。

⑥そういうかくされた部分がわからないと撞着語法はつじつまの合わない話になるが、言外のことばを解すれば、何とも言えないおもしろ味がある。

急いでいるときに、おあつらえに向うからバスがやってくる。まだ停留所ですこしあるから、走らないと間に合わない。走って行ってやつと間に合った。やれやれと飛び乗ると、何と行き先の違うバスではないか。とんでもないところへもって行かれてしまう。こんなことなら、ゆっくりしていた方がよかった。あわててバスに乗らなかつた方がよかった。⑦そういうことはバス以外に、いくらでもある。

⑧世の中に遅れないようにというつもりで、流行を追っているのも、やみくもにバスに飛び乗るのと似ている。新しく新しく思っていて、かえって時代遅れになってしまう。

※迂遠に見えそうなのが案外、実際の近道であることがすくなくない。

ゆっくり急げ。

※ウサギ式……筆者はこの問題の文章の前にウサギとカメの競走の話をしている。

さきにものべたように……筆者はこの問題の文章の前に、時間に遅れてあわてたために、失敗した体験談を述べている。

迂遠……道がまがりくねって遠いこと。

問一 () 1~4を補う語を次から選び、記号で答えなさい。

ア つまり イ だから ウ そして エ ところが

問二 傍線部①「それだからといって」の「それ」はどの語を指していますか。一単語で答えなさい。

問三 【A】AとEを補うのに最適の語を次から選び、記号で答えなさい。

ア 論理 イ 周知 ウ 意思 エ 矛盾 オ 対照

——外山滋比古『ことわざの論理』——

問四 傍線部②「建前」の対義語を漢字で書きなさい。

問五 傍線部③「『まける』のと『かつ』のとが同一次元でない」とはどういうことですか。次の説明文の中で最適なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア 日本人は「譲り合い」の精神を重んじるので、相手に「勝ち」を譲って負けた人を高く評価すること。
イ 一回の勝負では、一方を「勝ち」とし他方を「負け」と判定するのが難しい、互角の結果であること。
ウ 勝負に勝ったなら、その後の人生で決して不幸になることがない、絶対的「勝負」であること。

エ 勝負に負けたとしても、その後の人生でその「負け」が「勝ち」に変わっていくこともありうること。

問六 傍線部④「これではオキシモロンにならないのではあるまいか。」とありますが、「国語の辞書」の説明ではオキシモロンにならない、という筆者の考えを説明しなさい。

問七 傍線部⑤「そのすき間を飛びこえられない人」として本文中どんな例を挙げていますか。一語で答えなさい。

問八 傍線部⑥「そういうかくされた部分」について、具体的に述べられている一文の初めの三字を書きなさい。

問九 傍線部⑦「そういうことはバス以外に、いくらでもある。」とありますが、「急がばまわれ」についてのあなたの体験談（本文に書かれている例以外の体験談）を百〇百五十字以内で書きなさい。（句読点等も字数に含みます。）

問十 傍線部⑧「新しく新しく」と思っていて、かえって時代遅れになってしまう。」と筆者が述べる理由を簡潔に説明しなさい。

三 次の文章を読んで後の問いに答えなさい。

実際、リュウは正義感のかたまりのような少年だった。ずるいことやひきようなことが大嫌いで、相手のほうが絶対に間違っていると思うときには、たとえ上級生でもひるまなかった。

いつも思っていた。

お母さんが見ている――。

亡くなったお母さんが、ずっと見守ってくれている。だから強くなれる。お母さんに対して恥ずかしいことは絶対にしたくない、と誓っていた。（中略）

① そんなリュウを、お父さんはいつも応援してくれていた。

「リュウ、おまえのいちばんいいところは、まっすぐで素直なところだよ」

勉強はもうちょっとがんばってほしいけどな、と笑いながら付け加えたあと――お酒に酔っているときには、さらにもう一言、つづけるのだ。

「これからいろいろ大変なこともあるかもしれないけど、おまえは間違っていないんだから、ずっとまっすぐに、正義の少年でいろよ」

お父さんは知っているのだ。リュウのような正義感に満ちあふれた少年がいる一方で、そんな少年をうとましく思い、ねたんでしまう少年もいることを。そして、マンガやアニメならともかく、現実の教室には

「(A)」を冷ややかに笑う子どもたちのほうがずっと多いんだ、ということも。

心配は当たった。五年生になって教室の雰囲気が変わった。

クラス替えをしたせいだけではなく、四年生までのように男子と女子が入り交じって遊ぶことがなくなった。先生に問題を出されても、はいはいはーいつ、と手を挙げる子が減った。委員や当番をみんなやりたがらなくなり、立候補する子は男子も女子も「いい子ぶってる」「出しやばり」と陰口を言われるようになった。

そして、いじめが始まった。

最初の標的は、ニシムラクンという子だった。

五月のことだ。授業中、おながが痛くなったニシムラクンはトイレに行った。それだけのことで次の休憩時間に「ニシムラ、くさい」とからかわれた。最初は冗談半分で、からかうのもニシムラクンと仲のいいグループだけだったが、ニシムラクンがイヤがつて「やめろよお」と言う口調を誰かが物真似すると、みんな面白がつて、いつのまにか男子のほとんど全員がニシムラクンのことを「くさい」と言うようになった。

(中略)

六月に入ると、女子もニシムラクンのことを避けるようになった。給食当番のニシムラクンが配ったパンを、女子の誰かがティッシュでくるんでゴミ箱に捨てた。意地悪でそうしたのではなく、ほんとうに気持ち悪くて吐きそうだったから、とあとでその子は言った。(中略)

リュウは、いじめには加わらなかった。ニシムラクンをからかう連中に何度も「やめろよ、そんなの」と言ったし、いままでと変わらず、ニシムラクンにふつうどおりに話しかけた。

だって、そんなのあたりまえだよ、いじめなんてサイテーのひきよう者のやることなんだから――。

空を見上げて、お母さんに言った。

ニシムラクンにも「もつと本気で怒らないから、みんなもやめないんだ」と言った。「殴ったりしないでいいから、本気で怒ってみろよ」

ぼく、間違っていないよね――？

空の上のお母さんは、顔を見せてくれるわけではない。それでも、広くて青い空ぜんぶがお母さんなんだとリュウは思う。空をずっと見上げていると、につこりと微笑んでくれたり、まあっ、と軽くにらんだりするのが、わかるようになる。ほんとうだ。その証拠に、お母さんが笑ってくれているときの風はリュウの頬をやわらかくくすぐるし、お母さんに叱られているときには、風が肌にチクチクする。

六月の終わり頃、みんなの中心になってニシムラクンをいじめていたウエダが、ひどいことを思いついた。

休憩時間にニシムラクンがトイレに行くのを追いかけて、ニシムラクンがおしっこをしているうちに教室に駆け戻り、「ニシムラ、ただいまションベン中です、もつとくさくなりまーす」と大声で言つて、みんなに窓を開けさせ、鼻をつまませて、ニシムラクンを迎えるのだ。それに気づいたニシムラクンは、次の日は休憩時間になつてもトイレに行かなかった。おしっこをずっとがまんして、がまんして、がまんして、がまんして……六時間目の社会の授業中、ついに、席についたまま、漏らしてしまった。

リュウがウエダをグラウンドに呼び出して決闘したのは、その日の放課後のことだ。

今日のうちにいじめをやめさせないと、明日はもつとひどいことになる。

そうだよ、お母さん――。

ケンカはよくない。暴力はよくない。だが、いじめはもつとよくない。正義のためのケンカなら、お母さんもきつと許してくれるし、負けるわけにはいかない。

空を見上げ、お母さんごめんね、と心の中でつぶやいてから、ウエダにかかっていった。体はウエダのほうが大きかったが、リュウにはスピードがあった。怒りがあつた。なにより、正義があつた。たちまちウエダを組み伏せて、「二度とニシムラをいじめないって言え!」と迫った。まわりを取り囲んだ男子にも「ニシムラをいじめたら、俺がゆるさないぞ!」と言ってやった。その場にはクラスの男子の半分ほど集まっていたが、誰も言い返さなかった。

ウエダはしばらく「俺だけじゃないだろ、みんなやってたんだから」と言い訳していたが、リュウが馬乗りになつて拳をふりかざすと、「ごめん!すみません!」と半べそをかいて謝った。他の連中も、口々に「リュウちゃん、ごめん」「もうやめるから」「絶対にしないから」といままでのことを詫言した。

リュウもそれでやつと拳を下ろし、ウエダを解放してやった。

「今度ニシムラをいじめたら、もつとぶん殴つてやるからな。わかったな!」

ウエダはおむけに倒れたまま、ふてくされたようにそっぽを向いていた。返事はなかったが、さっきの
おびえ具合だと、もうだいじょうぶだろう。

リュウは地面に置いてあったランドセルを背負って歩きだした。胸を張って歩いた。空を見上げて、やっ
たよお母さん、と笑った。

風が吹いた。あれ？リュウの笑顔はこわばった。④ 気持ちよく頬を撫でていくはずの風が、なにかじつと
と重い。汗をかいているせいだろうか。それとも、明日から天気がくずれるという兆しなのだろうか。

まあいいや、と歩いていたら、背中からウエダの声が聞こえた。

「カッコつけるな！」

なんだと、怒って振り向いたが、駆け戻るには億劫な距離が空いていた。ウエダもそれをわかっていて、
——遠ざかるのを待って、怒鳴ったのかもしれない。

ウエダのまわりには、決闘に立ち会った連中が全員残っていた。さっきはリュウの剣幕におされて、ごめ
ん、もうやめるから、と繰り返すだけだったのに、いまこつちを見ている目つきはウエダと同じように敵意
にあふれていた。

風がまた吹く。やはり、じつとりと重い。頬にねばりつくような、いままで感じたことのない風だった。

翌日になって、そういうことだったのか、とわかった。あの風は、お母さんからのサインだったのだ。お
父さんがときどき言っていた「(B)なこと」とは、つまり、このことだったのだ。

いじめの標的が変わった。リュウがニシムラくんの身代わりになった。もともと、ウエダたちはニシムラ
くんのときのように、からかっていじめたりはしない。そんなことをしたら、またリュウに殴られてしま
うとわかってるから。

かわりに、無視のいじめを始めた。⑤ 誰も話しかけてこない。リュウが話しかけても返事をしない。目を合

わさず、廊下ですれ違うときにはリュウとは逆の端によけて、リュウがそばを通りかかるとおしゃべりをピ
タッとやめて、そっぽを向く。

ばかじゃないの、と最初は怒るというよりあきれていた。くだらない。無視をしているのはウエダと決闘
したときに一緒にいた連中だけだったし、どうせすぐに飽きるさ、と思っていた。

だが、リュウを無視する男子は、日を追って一人また一人と増えていった。ウエダが「リュウとしゃべ
たら、おまえも無視するからな」と脅したのだ。

ほんとうにくだらない。サイテーだ。脅すヤツもひきようだし、脅されて従うヤツも弱虫だ。

ぼく、負けないからね、お母さん——。

空を見上げる。⑥ 風は吹かない。頬を軽やかに撫でてくれる風は、思いだしてみると、五年生に進級してか
らほとんど吹いていなかった。

——重松 清『ゼツメツ少年』——

問一 傍線部①「そんなリュウ」とありますが、リュウはどのような少年ですか。本文中から十四字の語句
をぬき出して答えなさい。

問二 傍線部②「マンガやアニメならともかく」の言い換えとして最適なものを次から選び、記号で答えな
さい。

ア マンガやアニメならもちろん イ マンガやアニメは別として ウ マンガやアニメはさぞかし
エ マンガやアニメはいうまでもなく

問三 () A・Bを補う語を、本文中から探し出して、それぞれ漢字二字で答えなさい。

問四 傍線部③「お母さんごめんね、と心の中でつぶやいてから」とありますが、リュウはなぜ謝っている
と考えられますか。その理由を説明しなさい。

問五 傍線部④「ふてくされたようにそっぽを向いていた。」とありますが、この時のウエダの心情として適切でないものを次から選び、記号で答えなさい。

ア ニシムラに対するいじめをやりすぎたと後悔し、反省している気持ち。

イ 他の子もしていたのに自分だけが攻撃されたことに不満を抱く心情。

ウ ニシムラをからかっただけでいじめてはいないと主張したい気持ち。

エ リュウの攻撃から一刻も早く解放されたくて関わらないようにしたい気持ち。

問六 傍線部⑤「さっきのおびえ具合」とありますが、ウエダのおびえた様子を表現している部分を、「ところ。」に続く形で、本文中から十字で書きぬいて答えなさい。

問七 傍線部⑥「気持ちよく頬を撫でていくはずの風が、なにかじつとりと重い。」とありますが、リュウはここで吹いた風をどのように感じたと思いますか。簡潔に説明しなさい。

問八 傍線部⑦「剣幕におされて」とありますが、「剣幕」という語を使った次の例文で、不適切なものを選び、記号で答えなさい。

ア すごい剣幕で食ってかかる。 イ すさまじい剣幕にたじろぐ。 ウ 二人の関係が剣幕になる。

エ 激しい剣幕で詰め寄る。

問九 傍線部⑧「無視のいじめを始めた。」とありますが、どうしてそうなったと思いますか。次の中から最適なものを一つ選び、記号で答えなさい。

ア ニシムラ君に対するいじめにあきてきていて、ちやうど次の標的をさがしていた時だったから。

イ 無視することで、イイ子ぶってでしゃばりな行動ばかりするリュウに、反省させようと思うから。

ウ リュウに関わると痛い目に合わされると思い込み、なるべく関わらないようにしようと思うから。

エ 無視するだけなら、積極的ないじめではないので、リュウは相手を攻めようがないと思うから。

問十 傍線部⑨「風は吹かない」ことは、リュウにとってどのような心の状態になることだと考えられますか。リュウの心情を説明しなさい。

問題は以上です。